

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2016-120234(P2016-120234A)

【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-040

【出願番号】特願2014-263541(P2014-263541)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月25日(2018.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いた遊技が行われることによって、所定の遊技利益を付与可能な遊技機において、

所定の演出画像を表示する演出表示装置と、

前記演出表示装置の前方に設けられ、側方から光が入射されることによって所定の絵柄が表出す導光領域が面部に形成された導光板と、

該導光板の側方に光を入射可能な発光部と、を備え、

前記導光板の面部には、該導光板とは別の部材が入り込むための孔部が形成され、

前記発光部が発光するときに、前記演出表示装置の表示領域のうち前記孔部の真後ろに  
対応する表示領域を含んで特定の演出画像を表示するようにした

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技媒体を用いた遊技が行われることによって、所定の遊技利益を付与可能な遊技機において、

所定の演出画像を表示する演出表示装置と、

前記演出表示装置の前方に設けられ、側方から光が入射されることによって所定の絵柄が表出す導光領域が面部に形成された導光板と、

該導光板の側方に光を入射可能な発光部と、を備え、

前記導光板の面部には、該導光板とは別の部材が入り込むための孔部が形成され、

前記発光部が発光するときに、前記演出表示装置の表示領域のうち前記孔部の真後ろに  
対応する表示領域を含んで特定の演出画像を表示するようにした

ことを特徴とする。

また、本発明に関連する関連発明として以下の構成を参考として開示する。

遊技媒体を用いた遊技が行われることによって、所定の遊技利益を付与可能な遊技機において、

側方から光が入射されることによって前面に所定の絵柄を表出させる導光板と、該導光板の側方に光を入射可能な入射手段と、

前記導光板の周辺に設けられて待機位置と動作位置とに進退可能な装飾部と、駆動源からの駆動力を前記装飾部に伝達する可動伝達部と、を具備する可動手段と、を備え、

前記導光板には、前記可動手段の少なくとも一部の可動経路となる切除部が形成され、

前記可動手段が前記切除部から退避している前記待機位置の状態にて、前記切除部の後方で前記導光板に表出される絵柄に対応する補助絵柄を表出しうる補助絵柄表出手段を備えることを特徴とする。\_\_\_\_\_